

Caddie

HIJET

PRESS INFORMATION

2016.6.13



お客様の 多様なニーズにお応えし、 クルマを通じて日本を元気に



Profile

上田 亨 上級執行役員

主にシャシー設計部でシャシー・ブレーキシステムの開発を担当。2010年より「ミライース」プロジェクトの開発責任者を経て2012年から製品企画の担当役員となる。

ダイハツは、「**お客様に一番近い会社**」を目指して、
多様なニーズにお応えするべく、クルマづくりを進化させてまいりました。
お客様のニーズを丹念に確認し、その解決に向けた技術を実用化する中で、
近年の軽自動車はめざましい進歩を遂げています。

軽乗用車においては、お客様のニーズの多様化が進む中で、環境性能や予防安全に加え、
小さい車体の中で広い室内空間を実現する、「高効率パッケージング技術」などの技術を蓄積することで
幅広いニーズにお応えしてまいりました。
荷物の積載が主となる軽商用車については、「**大きな荷物スペース**」「**頑丈に出来ている**」などのニーズが
変わらず中心となっていたため、それをご満足頂く構造に特化するというのが通例となっていました。

近年、仕事を取り巻く環境は、たとえば、物流業界のインターネット販売の普及による配送方法の効率化や、
建築業界の資材現地直送化等、その他業種においても変化が見られています。
また、女性やシニアの就業促進を受け、**働く人の多様化も進み、環境が大きく変化**しています。

このような状況を踏まえ、使用実態の把握に努めるべく様々な業種の方にヒアリングしました。
そこから見てきたのは、**新たなニーズの兆候**でした。

これまで各社が**1mm単位での努力を重ねてきた荷物スペースの大きさ**について、
「荷物を満載する事がなく、荷物スペースの広さをさほど重視していない」との声を頂いたことです。
その一方で、**室内の静かさや、足元の広さ、乗り心地の良さ**など、
従来乗用車に求められるニーズが、商用車にも求められる傾向にありました。
また、「自分にはこの方が使いやすい」として、
タントやウェイクなどの軽乗用車を、仕事に使うお客様も増えてきています。
そこでダイハツは、この**新たなニーズを「人の働きやすさ」として捉え**、
昨今の仕事に最適な新ジャンルの軽商用車をご提案いたします。

働く皆様お一人おひとりのことはもちろん、経済性や、雇用の促進といった観点で
経営者側の皆様のニーズを踏まえたクルマづくりが出来たと自負しています。
仕事を支えるクルマも、ニーズの変化に積極的にお応えし、クルマを通じて日本を元気にしたい。
今後もダイハツは、その実現に向け進化を続けます。

Concept

コンセプト/特長

人の働きやすさを中心に考えた 新ジャンル軽商用車

～はたらく 楽ラクを実現する6つの楽を提案～

Profile

中島 雅之 製品企画部 チーフエンジニア

ボデー設計部で小型車の車体構造を担当後、製品企画部にて、ストーリー・ブーンの開発を担当。
2011年にムーヴの開発責任者を担当。2015年よりハイゼット キャディーの開発責任者となる。



「ハイゼット キャディー」は、「はたらく 楽ラク」をコンセプトに、従来の荷物優先のクルマづくりから、「人の働きやすさ」へと発想を転換した新ジャンルの軽商用車です。

その最大の特長は、「FFレイアウトの採用」にあります。
軽乗用車で培った、静粛性、低床フロアなどのメリットを持つFFレイアウトを軽商用車に採用することにより、**運転しやすい・荷物が載せやすい**など近年のニーズの変化にも対応する事が可能になりました。
また、軽乗用車で進化を重ねてきた**低燃費技術、操縦安定性**なども活かされています。

加えて、カメラ方式の先進安全装備「スマートアシストII」や、手入れのしやすい「樹脂性の荷室フロア」など軽商用車初となる技術を積極的に採用し、安全性から経済性・使い勝手にいたるお客様の多様なニーズにお応えしています。

ダイハツの軽商用車ラインナップに「ハイゼット キャディー」が加わり、多様な業種・多様な仕事でクルマをお使いの方に向けた充実の商品群とする事が出来ました。

今後も変化するニーズの把握に努め、いち早くお応えする企業でありたいと考えております。

「ハイゼット キャディー」の特長



Photo :D*デラックス SA II*

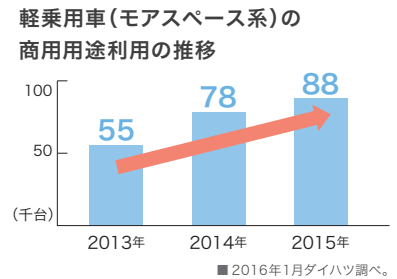
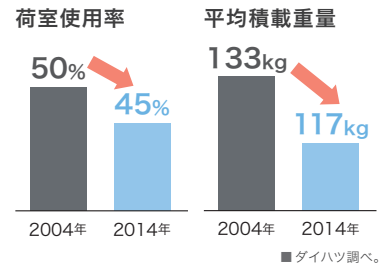


Caddy
HIJET

軽商用車の使用実態を様々な業種へヒアリングし、 人の働きやすさを中心に考えた商用車の発想へ転換

使用実態のヒアリングを踏まえ、人の働きやすさへと発想を転換

改めて、軽商用車をご活用されている皆様にヒアリングしたところ、商用ニーズが多様化してきていることが見えてきました。
まず、荷室の使用率と、平均積載重量が共に減少傾向にあります。「そこまで荷物を積み込まない」という方も増えてきているのではないかと考えられます。
その一方で、軽商用車への不満点として、「室内の静かさ」や、「足元の広さ」、「乗り心地の良さ」などが上位に挙げられていることに加えて、軽乗用車を商用用途に使うケースが増加してきており、新たなニーズの兆候が見られます。
また、近年の社会変化として、女性やシニアの就業率が増加傾向にあります。このような状況を踏まえダイハツは、従来の荷物優先の発想を転換し、「人の働きやすさ」というニーズにお応えする軽商用車が求められていると考えました。

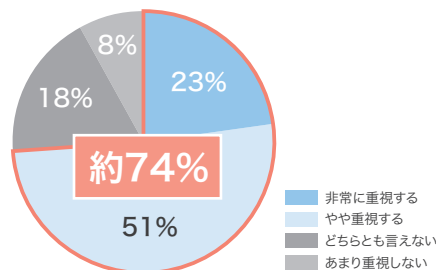


軽商用車※の不満点

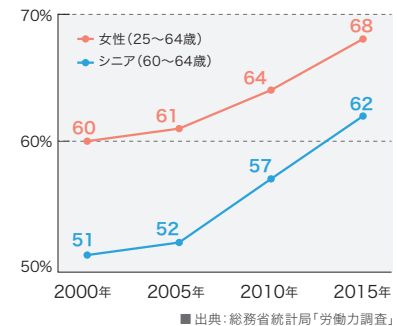
1位	室内の静かさ	17%
2位	登坂力	14%
	燃料代	14%
4位	出足・加速の良さ	13%
5位	足元の広さ	12%
	乗り心地の良さ	12%
	シートの座り心地	12%

※キャブバン、ボンネットバン
■ダイハツ調べ。

商用車購入時の安全重視度



女性・シニアの就業率推移



ユーザー訪問ヒアリング

各業種の方々への訪問ヒアリングを実施。

花屋



個人商店



■イメージ写真

人の働きやすさを中心に考えた 商用車の実現に向けて

広さと使い勝手の良さを追求したFFレイアウトのパッケージを採用

人の働きやすさという新しい商用ニーズにお応えすることに加え、一定程度の積載容量を満足するため、今回、広さと使い勝手の良さを追求したFFレイアウトのパッケージを採用しています。
この提案の背景には、ダイハツのパッケージング技術の進化があります。

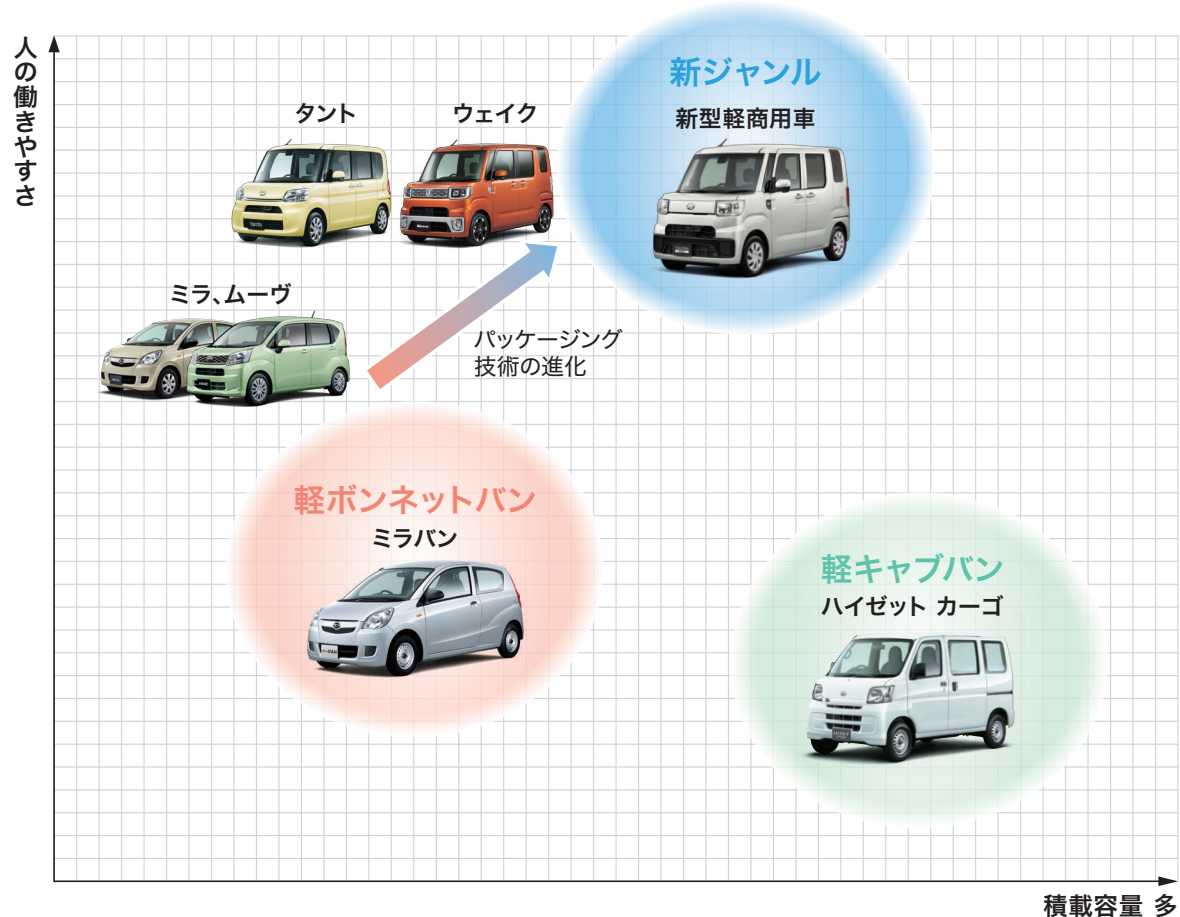
ダイハツの地道な努力のひとつに、「小さい車体を、いかに広く使うか」という、いわば「永遠の命題」があります。

基幹車種として軽自動車市場を牽引してきたミラ、ムーヴでは、室内長を広げるパッケージング技術の知見を得てまいりました。

また、モアスペース系という新ジャンルを開拓したタント、さらに、ウェイクと高さ方向への技術課題の克服を積み重ね、結果的に、使い勝手の良さに優れるFFレイアウトでありながら軽キャブバンに匹敵する広大な室内空間を持つまでとなりました。

この技術進化を応用することで、多様化する商用ニーズにいち早くお応えする軽商用車を実現させることが出来ました。

□ ポジショニング

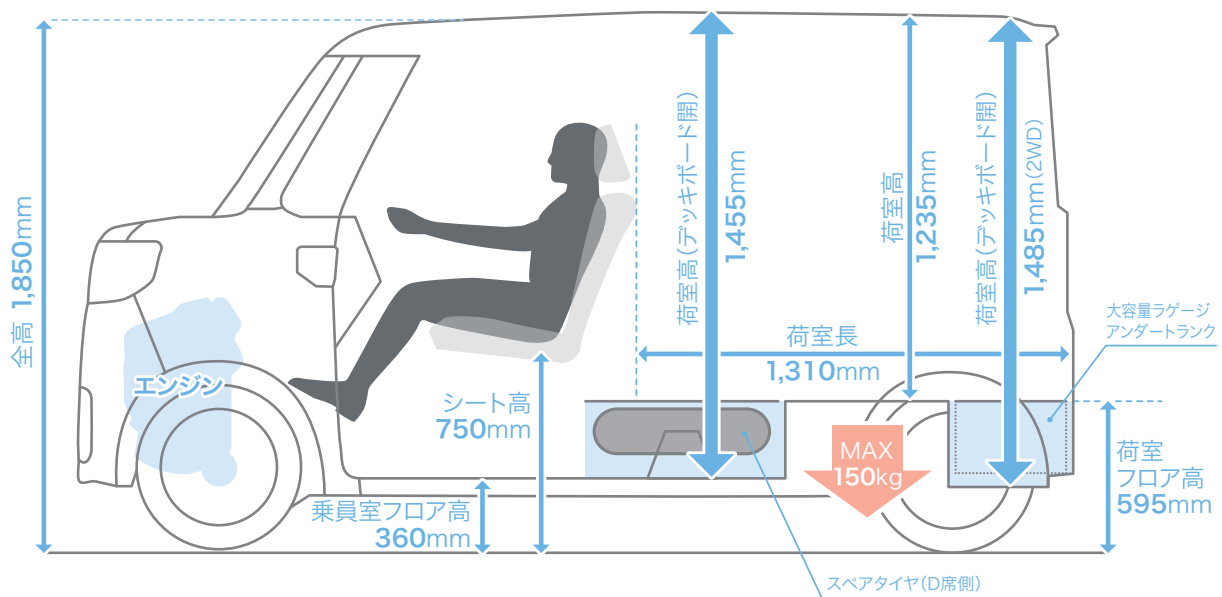


軽乗用車で進化を重ねてきた FFレイアウトの パッケージを採用



FFレイアウトを採用

従来の軽商用車は、荷室を広くとるために、運転席の下にエンジンを置くのが主流となっていた。今回、運転席の前にエンジンを置くことで、「低床フロア」を実現。これにより、ゆとりある運転空間と、一定程度の積載容量※1を確保した使い勝手の良い荷室を提供。



※1: ダイハツ測定値。ダンボール小(497×315×293mm)×約18箱目安

乗り降りと荷物の積み降ろしが楽

軽キャブバンと比較して、運転席足元のフロア高を低く、シートの高さも適度な高さとする事で、乗り降りが楽。また、クラスNo.1※2の低さを誇る荷室フロア高を実現し、荷物を高く持ち上げる必要がなくなり、積み降ろしが楽。

	ハイゼット キャディー (ハイゼット カーゴとの差)	ハイゼット カーゴ
①シート高	750mm (-25mm)	775mm
②乗員室フロア高	360mm (-71mm)	431mm
③荷室フロア高	595mm (-40mm)	635mm

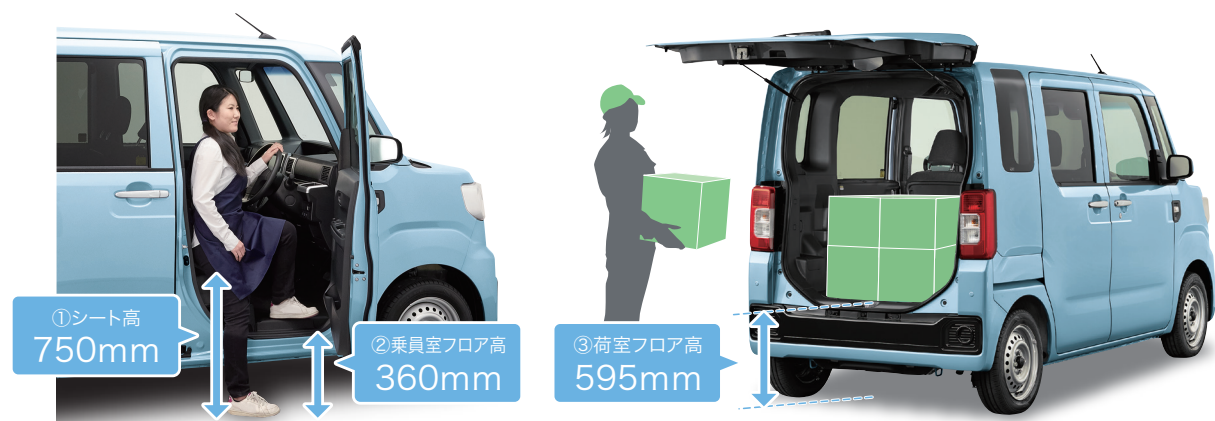


Photo: D*SA II*

※2: 軽商用バンクラス。2016年6月13日時点。ダイハツ調べ。

スマートアシストIIを採用

レーザーレーダーだけでなく、軽商用車で初めて※3カメラとソナーセンサーを搭載した、衝突回避支援システム(スマートアシストII)を一部グレードに標準装備※4。

「衝突回避支援ブレーキ機能」と、車両・歩行者との「衝突警報機能」に加え、「車線逸脱警報機能」、「誤発進抑制制御機能」、「先行車発進お知らせ機能」など、様々な機能で安全を支援。

			ハイゼット キャディー	
			スマートアシストII	
障害物認識方法			レーザーレーダー& ソナーセンサー&カメラ	
緊急ブレーキ	作動対象		車両	
	作動車速域	自車速度	約4~50km/h	
		衝突回避	速度差約4~20km/h	
		被害軽減	速度差約20~30km/h	
衝突警報	作動対象	車両	歩行者	
	作動車速域	約4~100km/h (速度差約60km/h以内)	約4~50km/h	
車線逸脱警報	作動車速域	約60km/h以上		
誤発進抑制制御機能	前方	●		
	後方	●		
先行車発進お知らせ機能		●		



レーザーレーダー



カメラ



ソナーセンサー

※3:2016年6月13日時点。ダイハツ調べ。※4:X*SA II、D*アラックスSA II、D*SA IIに標準装備。

全車アクティブセーフティ技術を標準装備

従来の軽商用車ではオプション設定としていたABS(EBD機能付)のほか、豊富なアクティブセーフティ技術を全車に標準装備。

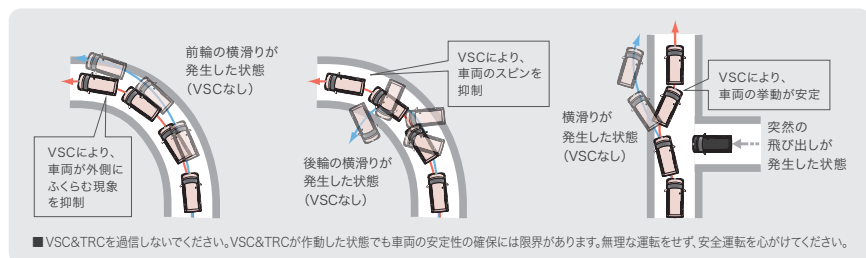
VSC&TRC※5

VSC

コーナリング時に横滑りが発生した場合、ブレーキとエンジン出力を自動的にコントロールし安定性を確保。

TRC

発進・加速時にタイヤの空転を抑えて安定した発進・加速を確保。



※5:“VSC”、“TRC”はトヨタ自動車株式会社の登録商標(使用許諾済)。

ヒルホールドシステム

登り坂での発進時、ブレーキからアクセルに踏みかえる際に車が後退するのを防止。



エマージェンシーストップシグナル

60km/h以上で走行中に強くブレーキを踏んだ場合、ハザードランプを高速点灯。



リヤアンダーミラー※6

バック駐車する時、車の後方を映し、駐車時の不安を軽減。



※6:メーカーオプション設定。

軽乗用車で進化を重ねてきた 高い基本性能

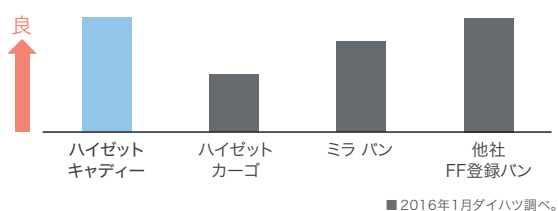


高い静粛性で運転が疲れにくい

運転席の前にエンジンを置くことにより、停止・発進の多い配達のお仕事のなかで要望として高かった静粛性を向上。加えて、音の侵入経路遮断と吸遮音材の最適配置により、FF登録バン同等^{※1}の静粛性を実現し、運転時の疲労を軽減。

※1:ダイハツ調べ。

会話明瞭度(AI値)



CVT採用による滑らかな走行

滑らかに変速するCVTの採用で、変速ショックが少なく、運転時の疲労を軽減。

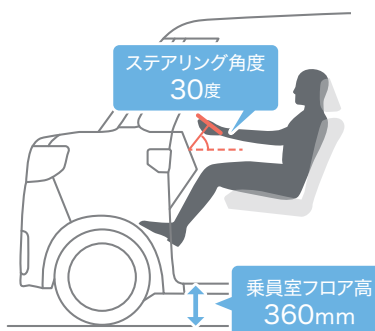


乗用車で乗り慣れた快適な運転席

軽乗用車と同様のFFレイアウトの採用により、乗用車感覚の運転のしやすさに加えて、ゆとりある運転空間で運転姿勢が楽。

	ハイゼット キャディー	ハイゼット カーゴ
ステアリング 角度	30度	38度

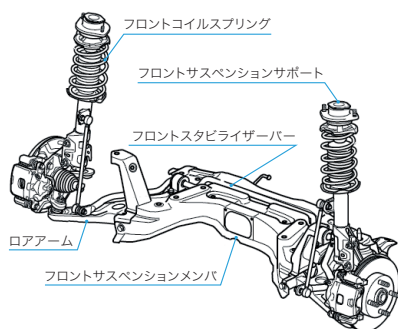
■ 2016年1月ダイハツ調べ。



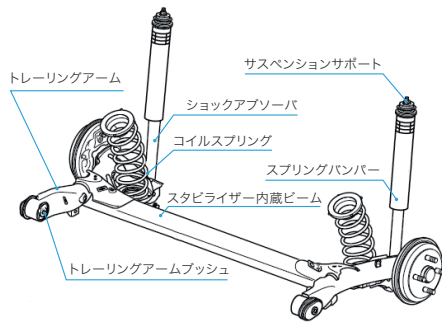
リクライニングが可能なホールド性の高いセパレートシートを採用し、快適な座り心地を実現。

操縦安定性・乗り心地と、商用車としての耐久性を両立

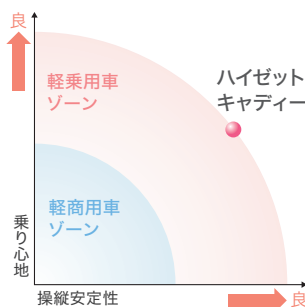
軽乗用車で培った知見を活かして、ウレタンバンプスプリングの採用や、スタビライザーの標準装備などにより、コーナリング時のふらつきを抑え、高さを感じさせない操縦安定性や、乗り心地の良さを実現。加えて、商用車として求められる耐久性を確保するため、コイルスプリングのばね定数、ショックアブソーバの減衰力特性などを最適化。



コイルスプリングのばね定数、ショックアブソーバの減衰力特性を最適化。



プログレッシブ特性を持つ、ウレタンバンプスプリングを採用し、乗り心地と操縦安定性を両立。



e:Sテクノロジーを採用



優れた低燃費25.0km/Lを達成

JC08モード 走行燃費^{※2} (国土交通省審査値)

25.0 km/L (2WD N/A車) **22.4** km/L (2WD T/C車)



- クールドi-EGR
- CVTサーモコントローラー
- 樹脂化ボディ
- eco IDLE
- エコ発電制御
- 空力性能
- DVVT採用(T/C車など)

※2: 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

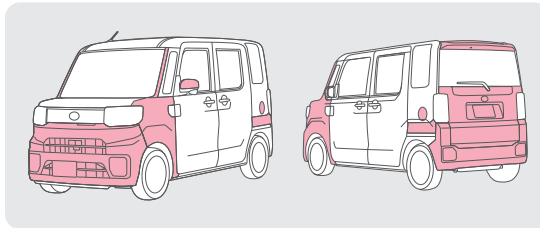
採用した主なe:Sテクノロジー



eco IDLE
アイドリングストップ機構を採用。



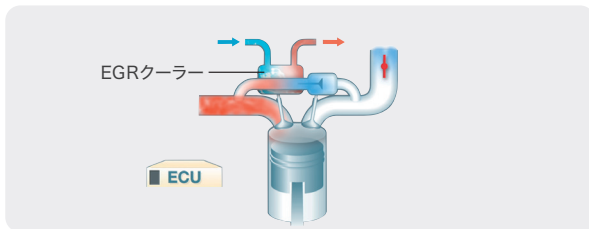
CVT
動力伝達効率が高くエンジン負荷の小さいCVTを採用。



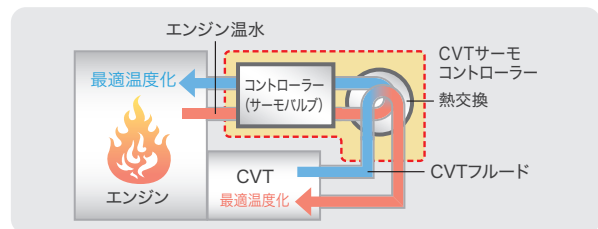
樹脂化ボディ
タント、コペンの知見を活かし、バックドアなどの外板に樹脂パーツを採用し、ボディを軽量化。



転がり抵抗が小さく、商用タイヤに比べ、操舵応答性、乗り心地にも優れた乗用タイヤを採用。



クールd-i-EGR^{※3} ※3: ion controlled Exhaust Gas Recirculation
EGRクーラーの採用により、再循環させる排出ガスの温度を低減。従来のi-EGRに比べ、吸気温度を低くする事ができ、異常燃焼を抑制。



CVTサーモコントローラー
CVTサーモコントローラーにより、エンジン冷却水とCVTフルードが相互に熱交換し、最適温度化。エンジンの燃焼効率、CVTの変速効率を高め、燃費を向上。

全グレードで免税もしくは減税対象

		2WD		4WD	
		N/A車	T/C車	N/A車	T/C車
JC08モード走行燃費		25.0 km/L	22.4 km/L	23.0 km/L	21.8 km/L
適合格制・認定レベル					
エコカー減税	自動車取得税	免税	60%減税	80%減税	60%減税
	自動車重量税		50%減税	75%減税	50%減税

メンテナンス性と 使い勝手に優れる荷室、 作業効率を高める収納機能



樹脂製のフラットな荷室

軽商用車初^{※1}となる、樹脂製の荷室フロアを採用することで、汚れやすい荷室の拭き取り掃除が簡単。
また、2シーターのフラットな荷室により、スムーズな荷物の積み降ろしが可能。

※1:2016年6月13日時点。ダイハツ調べ。



	ハイゼット キャディー	ハイゼット カーゴ ^{※2}	ミラバン
荷室長	1,310	1,755 (860)	1,260 (730)
荷室長 (助手席タンブル時)	1,905	2,630	(助手席 タンブル不可)
荷室幅	1,210	1,270 (1,350)	1,255 (1,225)
荷室間口幅	810	1,335	995
荷室高	1,235	1,210	930
荷室床面地上高	595	635	625

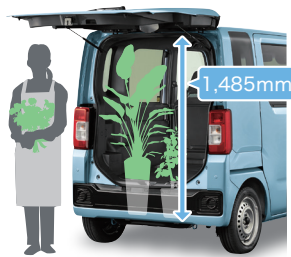
■2016年1月ダイハツ調べ、単位(mm)、()内は4名乗車の場合。
※2:ハイゼットカーゴクルーズの数値。

大容量ラゲージアンダートランク、助手席後方アンダートランク

デッキボードを脱着式とすることで、荷室後方の大容量ラゲージアンダートランクに加え、
助手席後方アンダートランク機能を設定。

大容量ラゲージアンダートランクを活用することで、荷室の高さはクラスNo.1^{※3}の1,485mmとなり、
背の高い荷物を立てたまま積み込むことができる。

大容量ラゲージアンダートランク



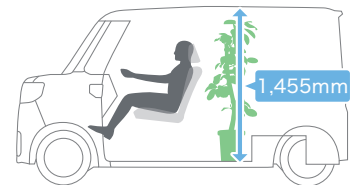
■写真は2WD、「ユースフルバック」選択時。

	2WD	4WD
① アンダートランク長	380 (最大)	335 (最大)
② アンダートランク幅	640 (最大)	565 (最大)
③ アンダートランク高	320 (最大)	115 (最大)

■単位(mm)



助手席後方アンダートランク



■イメージは2WD。

※3:軽商用バンクラス。2016年6月13日時点。ダイハツ調べ(大容量ラゲージアンダートランク使用時)。

車内をすっきり整理できる、使いやすいインパネ収納



大型インパネトレイ
容量約6.6L^{※4}の大容量トレイ。

※4:ダイハツ調べ。



インパネ一体カップホルダー
運転席、助手席に装備。

Color

カラーバリエーション

豊富な カラーバリエーション設定



標準色のホワイトの他に、5色のボディカラーを「選べるカラーパック(メーカーオプション)」として設定。お客様のお好みに応じたカラーをお選びいただける楽しさを提供。



ホワイト(標準色)
(W19)



ミストブルーマイカメタリック
(B69)★



トニコオレンジメタリック
(R71)★



ライトローズマイカメタリック
(T22)★



ブライツシルバーメタリック
(S28)★



ブラックマイカメタリック
(X07)★

★は「選べるカラーパック」としてメーカーオプション。 Photo:X'SA II*

□ 選べるカラーパック

- ミストブルーマイカメタリック
- トニコオレンジメタリック
- ライトローズマイカメタリック
- ブライツシルバーメタリック
- ブラックマイカメタリック

全5色のボディカラーから選択。



ボディ色連動電動格納式カラードアミラー(D'SA II[®], Dを除く)※5



カップホルダー(前席/インパネ一体)シルバー加飾



オーディオクラスターシルバー加飾

※5: D'SA II[®], Dのドアミラーは材着黒色。

Option

メーカーオプション

はたらくを、もっとラクに楽しくできる、豊富なメーカーオプション

選べるカラーパック



ボディ色連動電動格納式カラードアミラー(D*SA II、Dを除く)



カップホルダー(前席/インパネ一体)シルバー加飾



オーディオクラスターシルバー加飾



トニコオレンジメタリック(R71)



ミストブルーマイカメタリック(B69)



ライトローズマイカメタリック(T22)



ブライトシルバーメタリック(S28)



ブラックマイカメタリック(X07)

省力パック



ボディ同色オート格納式(キーフリー連動)ドアミラー



プッシュボタンスタート



キーフリーシステム電子カードキー(2個)



オートライト



車速感应式間欠フロントワイパー※1



セキュリティアラーム※1

※1:車速感应式間欠フロントワイパーとセキュリティアラームはX*SA II*、X、D*デラックスSA II*、D*デラックス*では標準装備。

ビューティパック

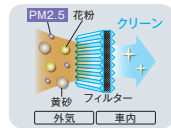


スーパーUV&IRカットガラス(フロントドア)

日焼けの原因となる紫外線を約99%※2カットします。また、赤外線を効果的に遮断し、ジリジリとしたお肌への刺激を低減。日差しの暑さによる車内の温度上昇を抑え、エアコン効率も高めます。



サンバイザー/バニティミラー(運転席)



スーパークリーンエアフィルター(イメージ図)

※2:ダイハツ工業(株)調べ。UV=Ultraviolet Rays(紫外線) IR=Infrared Rays(赤外線)

スタイリッシュパック



LEDフォグランプ(メッキ加飾付)



14インチアルミホイール

ユースフルパック



助手席シートバックテーブル



シート間トレイ



100V電源(60W)



イージーアクセスフロア(大容量ラゲージアンダートランク)



ユーティリティフック(4個)



荷室床面フック(2個)

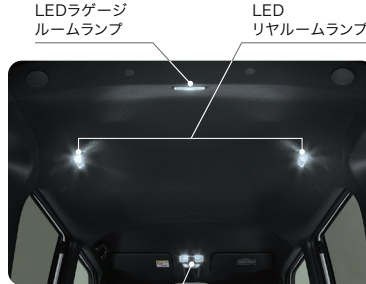


固定ベルト(1本)



リヤアンダーミラー(室内付)

LED室内照明パック



LEDラゲージルームランプ

LEDリヤルームランプ



LEDフロントパーソナルランプ



LEDバックドアランプ



LEDリヤルームランプ/LEDラゲージルームランプ

ナビパック



スマートフォン連携メモリーナビゲーションシステム



HDMI端子



バックカメラ

純正ナビ装着用アップグレードパック



バックカメラ

■メーカーオプションは組み合わせによって装着できない場合があります。 ■写真は機能説明のために各ランプを点灯したものです。実際の走行状態を示すものではありません。

Option

ディーラーオプション

はたらくを、さらにサポートする、 様々なディーラーオプション

パックアイテム

働く皆様のご意見

- ・簡単に水洗いできるマットが欲しい。
- ・伝票の保管や小物を収納したい。

▶ ベーシックパック

オールウェザーマット(フロント)

ラバーマットより軽く、水洗いも可能。



リヤバッグ(1個)

運転席から手が届く範囲内で小物収納ができるバッグ。



〈装着イメージ〉

助手席背面

運転席背面

助手席前面



働く皆様のご意見

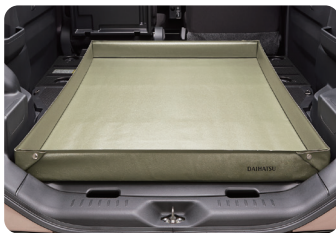
- ・水や土がこぼれても、ふき取りやすい素材で、縁が高い収納が欲しい。
- ・空いてるスペースに小物収納をしたい。

▶ 荷室収納パック

縁高荷室シート

完全防水素材で、濡れた物、汚れた物でも気軽に積載可能。

使用時



保管時



●寸法:縦1,200mm x 横850mm x 高さ85mm

コンパクトトランクバッグ

助手席後方アンダートランクにピッタリサイズのバッグ。

積載箇所



●寸法:縦450mm x 横235mm x 高さ180mm

働く皆様のご意見

- ・荷物を固定できるようなものが床面に欲しい。

▶ フックパック

荷室用ネット、固定ベルト等を引っ掛け、荷物の固定が可能。

デッキフック(4個)

前用

後ろ用

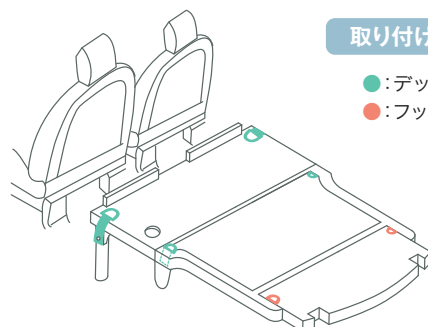


フックA(2個)



取り付け箇所

- :デッキフック
- :フックA



Option

ディーラーオプション

はたらくを、さらにサポートする、 様々なディーラーオプション

単品アイテム

働く皆様のご意見

・天井にも
小物を収納したい。

▶ オーバーヘッドネット

軍手やタオルなどをネットに入れて、
天井空間を有効活用可能。
最大積載荷重: 3kg



■ 寸法: 縦420mm x 横850mm

働く皆様のご意見

・衣類を床に置いて
運びたくない。

▶ ハンガーバー

衣類等をハンガーに吊したまま
運ぶ事が可能。
最大積載荷重: 15kg



■ 寸法: 縦700mm x 横1,020mm

働く皆様のご意見

・夏や冬に冷暖房が効きやすくしてほしい。

▶ 間仕切カーテン

荷室への冷暖房を遮断し、運転席の冷暖房効果をアップ。
用途に応じて、カーテンを半分に折ることが可能。

通常



長尺物を積む時



休憩時



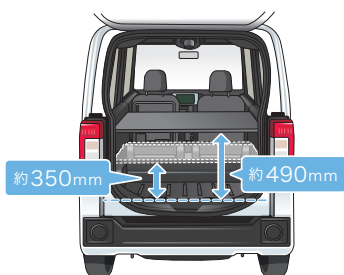
■ 仕様や品名など最終仕様とは異なる場合があります。

働く皆様のご意見

・荷室を2段にして使いたい。

▶ 荷室ボード

荷室を2段に分けることで、より効率的に荷物を積むことが可能。
用途に応じて、ボードの高さを選択可能。
最大積載荷重: 15kg



■ 寸法: 縦710mm x 横1,150mm

Grade

グレード/価格

充実した装備内容としながら、お求めやすい価格設定

グレード	駆動方式	メーカー希望小売価格	エコカー減税/軽自動車税		
D	2WD	1,188,000円(消費税抜き 1,100,000円)	   <p>(2WD) ※1 (4WD) ※2</p>		
	4WD	1,312,200円(消費税抜き 1,215,000円)			
D“SA II” 	2WD	1,252,800円(消費税抜き 1,160,000円)	 <table border="1" data-bbox="1093 638 1276 705"> <tr> <td>取得税 免税 80% (2WD)</td> <td>取得税 免税 75% (4WD)</td> </tr> </table>  <p>※1 ※2</p>	取得税 免税 80% (2WD)	取得税 免税 75% (4WD)
	取得税 免税 80% (2WD)	取得税 免税 75% (4WD)			
4WD	1,377,000円(消費税抜き 1,275,000円)				
D“デラックス”	2WD	1,258,200円(消費税抜き 1,165,000円)	   <p>(2WD) ※1 (4WD) ※2</p>		
	4WD	1,382,400円(消費税抜き 1,280,000円)			
D“デラックス SA II” 	2WD	1,323,000円(消費税抜き 1,225,000円)	 <table border="1" data-bbox="1093 985 1276 1052"> <tr> <td>取得税 免税 80% (2WD)</td> <td>取得税 免税 75% (4WD)</td> </tr> </table>  <p>※1 ※2</p>	取得税 免税 80% (2WD)	取得税 免税 75% (4WD)
	取得税 免税 80% (2WD)	取得税 免税 75% (4WD)			
4WD	1,447,200円(消費税抜き 1,340,000円)				
X	2WD	1,355,400円(消費税抜き 1,255,000円)	  <p>(2WD) ※1 (4WD) ※2</p>		
	4WD	1,479,600円(消費税抜き 1,370,000円)			
X“SA II” 	2WD	1,420,200円(消費税抜き 1,315,000円)	 <table border="1" data-bbox="1093 1332 1276 1400"> <tr> <td>取得税 軽減 60%</td> <td>取得税 軽減 50%</td> </tr> </table>  <p>※1 ※2</p>	取得税 軽減 60%	取得税 軽減 50%
	取得税 軽減 60%	取得税 軽減 50%			
4WD	1,544,400円(消費税抜き 1,430,000円)				

■北海道地区メーカー希望小売価格は10,800円(消費税抜き10,000円)高となります。

※1:エコカー減税(環境対応車普及促進税制)による自動車取得税・自動車重量税の軽減率。自動車取得税は平成29年3月31日まで。自動車重量税は平成29年4月30日まで。

※2:グリーン税制(グリーン化特例)による軽自動車税の軽減率。対象は、平成29年3月31日までの新車新規届出車。翌年度(平成29年度)分の軽自動車税に適用。